

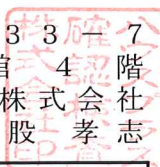


再発行日：平成28年3月3日
受付日：平成27年10月29日
受付番号：HP15-KT143

接合部性能試験成績証

試験結果は以下のとおりであることを証明する。
平成28年3月3日

東京都港区芝5-33-7
徳栄ビル本館4階
ハウスプラス確認検査株式会社
代表取締役社長 川股 孝志



1. 接合金物名称	フラットかすがい90
2. 試験依頼者	株式会社 タナカ 〒300-4111 茨城県土浦市大畑702-1
3. 目的	当該接合金物を用いた接合部の短期基準接合耐力(引張)を評価する。
4. 試験内容	耐力壁が取り付け柱の仕口(中柱型)の引張試験 なお、準拠する試験方法・評価方法は、ハウスプラス確認検査株式会社制定「木造建築構造試験事業における接合部性能試験業務方法書(平成21年4月1日制定)」による。
5. 試験体仕様	<u>1) 接合金物</u> 「フラットかすがい90」 材質：引張強度590~1030N/mm ² を満たす鋼材 (試験では、Q195を伸線したものをを用いた) 寸法：90mm×30mm(外形寸法) 断面 5mm×5mm 先端部の角度 30° 表面処理：Ep-Fe/Zn 8/CM 2 C (JIS H 8610及びJIS H 8625) <u>2) 軸組材料</u> 柱：105mm×105mm×600mm スギ 無等級材 含水率：10.0~13.0% 全乾密度：0.38~0.43g/cm ³ 横架材：105mm×105mm×1000mm スギ 無等級材 含水率：9.5~16.0% 全乾密度：0.38~0.40g/cm ³
6. 試験条件等	試験体は接合部を実状に合わせた仕様としている。 試験体は、柱芯から横架材両木口側400mmの位置でM12六角ボルト・ナット及び角座金W4.5×40を用い、鉄骨架台と緊結した(締付トルク管理値：20N・m)。また、加力時に柱の偏心防止のためのサポート治具を設けた。
7. 試験結果	短期基準接合耐力 2.1 kN (詳細については接合部性能試験報告書に示す)
8. 試験場所	ハウスプラス確認検査株式会社 横浜試験研究センター：神奈川県横浜市鶴見区元宮1-12-24
9. 試験実施日	平成27年11月10日
10. 試験実施担当者	ハウスプラス確認検査株式会社 評定部 家納 吾郎 道場 信義 千葉 博 加川 啓介 宇山 善博

この接合部性能試験成績証を転載するときは、必ず全文を記載してください。